

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、平成30年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

1 指定概要

(1) 施設概要

名 称：北九州市立藍島保育所

所 在 地：小倉北区大字藍島253番地

施設内容：①施設概要

敷地面積：663.34㎡

構 造：鉄筋コンクリート造平屋建

規 模：延床面積89.25㎡

定 員：30名

②事業内容

保育所の管理及び保育の実施

(2) 指定期間

平成31年4月1日～平成36年3月31日

(3) 指定管理者候補の概要

名 称：一般財団法人 北九州市母子寡婦福祉会

所在地：北九州市戸畑区汐井町1番6号

主な業務内容：北九州市立母子・父子福祉センターの管理運営

子育て支援施設「ころころ」（認可外保育施設）の運営

ひとり親家庭等日常生活支援事業の実施 等

2 指定の経緯

平成30年 7月30日 募集要項配布

平成30年 9月18日 募集締め切り

平成30年10月12日 指定管理者検討会の開催

平成30年11月 指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

①法人、その他の団体であること。（個人による応募は不可）

②本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態

が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。

- ③募集説明会に参加していること。(共同事業体で応募する際は、代表団体が募集説明会に参加していること。)

※複数の団体により構成するグループによる応募について

グループでの応募も可能。その場合は、応募時に共同事業体を結成し、代表団体を定め、上記の要件をその代表団体に求める。

なお、共同事業体の代表団体は、構成員中最も業務履行能力の大きい者とし、出資比率は構成員中最大でなければならない。

- ④共同事業体を構成する場合は、競争性を確保した上で、本市経済の振興と地元団体の育成を図る観点から、可能な限り地元団体を構成員とするよう努め、最低1団体は地元団体とすること。

(2) 応募状況

説明会参加：1団体

応募件数：1団体（一般財団法人 北九州市母子寡婦福祉会）

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

4 検討会構成員

- ・[学識経験者] 阿南 寿美子（西南女学院大学短期大学部保育科 准教授）
- ・[有識者] 白井 洋子（北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会 専門委員）
- ・[有識者] 中西 光恵（北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会 専門委員）
- ・[学識経験者] 春高 裕美（九州女子大学人間科学部人間発達学科 講師）
- ・[公認会計士] 宮川 英之（宮川公認会計士事務所）

5 選定基準等

選定基準（＝審査項目）及びポイント	
1	指定管理者としての適性
(1)	施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
①	応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営（指定管理業務）に対する理念や基本方針を持っているか。
②	応募団体が、「保育所保育指針」等の趣旨を踏まえ、十分に理解した上で、保育に対する理念や基本方針を持っているか。
(2)	安定的な人的基盤や財政基盤
①	長期間安定的な管理運営（指定管理業務）を行っていくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
(3)	実績や経験など

- ① 応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
- ② 応募団体が施設の管理運営（指定管理業務）に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】

（１）施設の設置目的の達成に向けた取組み

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
- ② 利用者に対する「保育課程」「指導計画」が適切に策定されているか。
- ③ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
- ④ 個々の利用者や、その家族の特性に応じた支援、取組みがなされ、その効果があったか。
- ⑤ 入所児童の年齢に応じて、デイリープログラムが適切に策定されているか。
- ⑥ 給食・おやつ提供についての具体的な取組みの工夫や、食育についての計画が適切であるか。
- ⑦ 子どもの健康管理についての計画があるか。
- ⑧ 育児相談等地域の子育て家庭を対象とする子育て支援の取組みを積極的に行う計画があるか。
- ⑨ 保護者の子育てを支援する姿勢が明確であり、相互理解を深めるための取組みが計画されているか。

（２）利用者の満足度

- ① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
- ④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
- ⑤ 利用者が高齢者、障がい者（児）、児童等である場合、利用者や保護者等に対するサービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。
- ⑥ 第三者評価事業へ参加したことがあるか、あるいは計画があるか。

【効率性】

（３）指定管理料及び収入

- ① 指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。

（４）収支計画の妥当性及び実現可能性

- ① 収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。
- ② 経費の配分は適切であるか。
- ③ 積算根拠は明確であるか。
- ④ 再委託が適切な水準で行われているか。

【適正性】

（５）管理運営体制など

- ① 施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
- ② 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
- ③ 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有してい

	るか。
	④ 職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。
	⑤ 地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
	① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が十分に考えられているか。
	② 利用者が高齢者、障がい者（児）、児童等である場合、事故防止に特別の配慮、工夫がなされた提案があるか。
	③ 利用者の選定が公平で適切に行われるよう配慮されているか。
	④ 日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
	⑤ 防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準 (=審査項目) 及びポイント	配点	評価レベル					検討会 審査結果	得点
			構成員						
			A	B	C	D	E		
一般財団法人 北九州市母子寡婦福祉会	1 指定管理者としての適性								
	(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針	5	5	4	4	4	3	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	4	3	3	4	3	3	3
	(3) 実績や経験など	5	5	4	4	5	4	4	4
	2 管理運営計画の適確性								
	【有効性】								
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	30	4	3	3	4	3	3	18
	(2) 利用者の満足度	10	4	3	3	4	4	4	8
	【効率性】								
	(3) 指定管理料及び収入	15	5	5	4	4	2	4	12
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	10	5	3	4	4	3	4	8
	【適正性】								
	(5) 管理運営体制など	10	4	3	3	5	3	4	8
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	4	3	3	5	3	4	8	
合計	100	87	68	67	85	60	—	73	
地元団体に対する優遇措置 (5点)								78	

(2) 検討会における主な意見

- ・へき地保育所という厳しい制約がある中、離島の独自性を活かした保育運営がなされており、8年間の指定管理実績もあることから、今後も適切な管理運営が期待できる。
- ・藍島地区の地域住民との連携が適切になされている。保育指針に沿った各年齢の保育指導計画がある。児童数は少ないものの、年間行事数が豊富であり、交流保育等で多人数の子どもとふれあう機会も多い点が評価できる。

(3) 検討会における検討結果

- ・協議の結果、検討会として、応募団体が市の要求水準を満たしており、十分な能力を有していると認められた。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、一般財団法人北九州市母子寡婦福祉会を指定管理者候補に選定しました。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・本施設の設置目的についてよく理解しており、子どもの最善の利益を考慮した保育の実施が期待できる。
- ・第2期、3期の指定管理者として、児童一人ひとりに寄り添いながら、子どもの健やかな成長を支援するとともに、保護者の理解の下、各種行事を地域と一体となって実施するなど、十分な実績を有している。
- ・離島という独自性を活かし、島内の自然に触れ合う豊かな体験を取り入れるなど、適切な保育計画が作られている。
- ・児童により多くの児童と触れ合う機会を提供するため、他の保育所とも相互に交流を図る提案がなされている。

8 提案額

平成31年度	11,511千円
平成32年度	11,511千円
平成33年度	11,511千円
平成34年度	11,511千円
平成35年度	11,511千円